

岩手県金融経済概況（平成 29 年 5 月）

1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復基調を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は底堅く推移している。公共投資、住宅投資は、高水準で推移している。設備投資は増加傾向を維持している。

生産は、緩やかに持ち直している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は改善しているが、雇用者所得は前年を下回っている。

消費者物価（除く生鮮食品）は、4 ヶ月連続で前年を上回った。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 29 年 5 月）は、食堂・喫茶等が好調なことから前年並みとなった（前年比 0.0%、前年比が 0%以上となったのは 6 ヶ月振り）。

スーパー売上高（全店舗ベース；平成 29 年 4 月）は、2 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+2.4%）。

新車登録・届出台数（登録車+軽；平成 29 年 5 月）は、9 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+17.9%）。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（平成 29 年 5 月）は、3 ヶ月振りに前年を上回った（前年比 +42.6%）。

新設住宅着工戸数（平成 29 年 4 月）は、2 ヶ月連続で前年を上回った（前年比 +20.3%）。

—— 主力の持家が前年並みとなった（前年比 0.0%）ほか、貸家が 2 ヶ月振りに前年を上回った（同+75.7%）ものの、分譲は 4 ヶ月振りに前年を下回った（同△51.4%）。

民間設備投資（短観ベース；平成 28 年度実績見込み、29 年度計画）は、28 年度は翌年度への繰り越し等から全産業で前年を下回る見込み（前年比△3.8%）となったものの、29 年度は前年を上回る計画（同+9.1%）となっている。

—— 平成 28 年度（実績見込み）は、翌年度への繰り越し案件がみられたこと等から、製造業では前年を 1 割方下回るほか、非製造業は前年並みとなり、全産業では前年を下回る見込み。

—— 平成 29 年度（計画）は、製造業、非製造業とも前年度からの繰り越し案件に加え、新製品対応や能力増強・更新投資もみられ、全産業で前年を上回る計画となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（平成 29 年 4 月）は、2 ヶ月振りに前年を下回った（前年比△3.4%）。

3. 生産動向

生産は、緩やかに持ち直している。

鉱工業生産指数（季節調整値；平成 29 年 3 月）は、3 ヶ月連続で前月を上回った（前月比+0.2%）。

—— 3 月の動向を主要業種別にみると、金属製品、生産用機械、はん用機械が上昇し、化学、電子部品・デバイス、輸送用機械が低下した。

なお、四半期の動きをみると、28/4～6 月に 5 四半期振りに前期比が増加に転じた（前期比+3.0%）ものの、7～9 月に一旦減少（同△0.9%）し、その後、10～12 月（同+0.7%）、29/1～3 月（同+3.6%）と増加している。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境をみると、労働需給は改善しているが、雇用者所得は前年を下回っている。

有効求人倍率（季節調整値；平成 29 年 4 月）は、1.42 倍と 25 年 5 ヶ月振りに 1.4 倍台となった（平成 25 年 5 月以降 48 ヶ月連続で 1.00 倍以上を記録）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；平成 29 年 4 月）は、前年を上回った（前年比+1.6%；平成 24 年 3 月以降 62 ヶ月連続で増加）。

雇用者所得（県内合計値；平成 29 年 3 月）は、常用雇用指数が前年を上回った（前年比+0.7%）ものの、名目賃金指数が 8 ヶ月連続で前年を下回った（同△2.9%）ことから、4 ヶ月連続で前年を下回った（同△2.2%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）（平成 29 年 4 月）は、食料（除く生鮮食品）、光熱・水道の上昇等を主因に 4 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+1.1%）。

6. 企業倒産

企業倒産（平成 29 年 5 月）は、3 件、5.2 億円（前年同月；3 件、7.3 億円）と落ち着いた動き。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（平成 29 年 4 月）は、預金は前年を上回る一方、貸出は前年を下回った。また、貸出約定平均金利は、横這い圏内の動きとなっている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>